

研究機関：広島大学

研究課題名	舌接触補助床装着前後の最大舌圧および嚥下時舌圧の変化に関する多施設共同研究
研究責任者名	広島大学大学院医歯薬保健学研究科先端歯科補綴学研究室 教授 津賀一弘
研究期間	2018年12月18日(倫理委員会承認後)～2021年 3月31日
対象者	2004年1月から2015年12月の間に、広島大学病院口腔インプラント診療科および咬合義歯診療科で舌接触補助床による治療を受けられた患者。
意義・目的	舌接触補助床の効果については、現在嚥下障害や構音障害に有効な治療法であることが明らかになっていますが、実際にどの程度機能回復が可能か客観的な数値で表すことができていません。今回、これまで診療の際に測定した舌圧(舌と口蓋の接触圧)の記録を集めることで舌接触補助床を装着した後の舌圧の変化を明らかにするため、この研究を計画しました。
方法	本研究は、診療録(カルテ)情報を調査して行います。 カルテから使用する内容は年齢、性別、原因疾患、舌接触補助床の種類、舌接触補助床装着前の舌圧値、舌接触補助床装着直後の舌圧値、1か月以降の再評価時の舌圧値、舌圧測定器の種類です。 (個人を特定可能な情報は解析に用いません)
共同研究機関	日本歯科大学大学院生命歯学研究科臨床口腔機能学、新潟大学大学院医歯学総合研究科包括歯科補綴学分野、東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科高齢者歯科学分野、東京歯科大学老年歯科補綴学講座、など 広島大学に情報を集め研究責任者(津賀一弘)が解析します。
試料・情報の管理責任者	広島大学大学院医歯薬保健学研究科先端歯科補綴学研究室 教授 津賀一弘
個人情報保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel: 082-257-5677 広島大学病院口腔インプラント診療科 歯科診療医 森 隆浩